

株式会社イマナカ

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年10月1日 ~ 2024 年9月30日)



発行日： 2024年11月25日

目 次

環境経営方針

組織の概要

認証・登録の対象組織・活動

環境経営組織図及び役割・責任・権限表

主な環境負荷の実績

環境経営目標及びその実績

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

代表者による全体の評価と見直し・指示



環境経営方針

<環境経営理念>

当社は【会社に関わるすべての人々が豊かな人生を送る。】という経営理念に基づき、土木・建築業を通じて事業活動における環境への影響を理解し、地球温暖化問題・地域の環境活動に自主的・積極的に取り組むと共に、【人・地域・地球】の未来を見据え、従業員一丸となり、環境負荷低減の継続的活動に取り組めます。

<環境保全への行動指針>

- 1．電力及び燃料使用による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 2．廃棄物の発生抑制、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
- 3．水使用量の削減に努めます。
- 4．環境に配慮した施工に努めます。
- 5．環境関連法規制を遵守します。
- 6．地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
- 7．環境経営システムの継続的改善に努めます。
- 8．上記方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2019年5月1日

代表取締役 今中 健夫

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 イマナカ

代表取締役 今中 健夫

(2) 所在地

本社・資材倉庫 兵庫県多可郡多可町加美区箸荷554

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	取締役	幸野 晃	TEL : 0795-36-0068
担当者	総務部	安田 広三	FAX : 0795-36-0270

(4) 事業内容

土木工事業、舗装工事業、建築工事業

(5) 事業の規模

売上高(2023年度)	30,450万円
従業員	15名
延べ床面積(本社・資材倉庫)	200㎡

(6) 事業年度

10月1日～9月30日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 イマナカ

対象事業所： 本社・資材倉庫

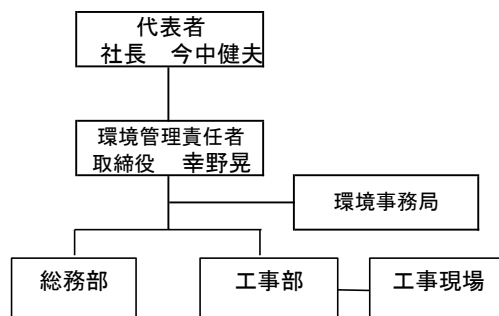
活動： 土木工事業、舗装工事業、建築工事業

□事業の紹介



加古川水系野間川護岸修繕工事 (令和5年度工事)

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、情報等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連のコミュニケーションの窓口 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境への取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境への取組の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境への取組へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2018年	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	85,477	95,172	69,312	70,951
一般廃棄物排出量	kg	160	139	123	131
産業廃棄物排出量	トン	994	619	346	218
水使用量	m ³	92	64	57	66

※二酸化炭素排出係数 2018・2019年度：0.418 2020・2021・2022・2023・2024年度：0.334kg-CO₂/kWh
(令和元年度 関西電力の調整後二酸化炭素排出係数)

□環境経営目標及びその実績 (化学物質の使用はない)

項 目	年 度	基準値	2024年		評価	2025年	2026年
		(2018年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,159	2,094	1,628	○	2,083	2,073
	基準年度比	2018年	97.0%	75%		96.5%	96.0%
自動車燃料(ガソリン)による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	28,357	27,506	21,003	○	27,365	27,222
	基準年度比	2018年	97.0%	74%		96.5%	96.0%
自動車燃料(軽油)による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	54,961	53,312	48,321	○	53,037	52,763
	基準年度比	2018年	97.0%	87.9%		96.5%	96.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	85,477	82,913	70,952	△	82,486	82,057
一般廃棄物の削減	kg	160	141	131	○	138	134
	基準年度比	2018年	88%	82%		86%	84%
混合廃棄物の削減	kg	6,800	5,984	3,600	○	5,848	5,712
	基準年度比	2018年	88%	53%		86%	84%
水使用量の削減	m ³	92	81	66	○	79	77
	基準年度比	2018年	88%	72%		86%	84%
問題発生を未然に抑える取組 (着手前リストでチェック)	達成率	—	96%以上	100%	○	96%以上	96%以上
				(3件)			

※二酸化炭素排出係数 2018年度：0.418kg-CO₂/kWh 2020・2021・2022・2023年度：0.334kg-CO₂/kWh
(関西電力の二酸化炭素排出係数) 調整後 「EA21で対象とする化学物質の使用はない」

口環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成。
・不要な照明の消灯	◎	点検及び社員の意識向上で不要照明の消灯は徹底できた。
・OA機器の主電源管理	△	主電源管理までは出来ていない。 今後も積極的に取組みを継続する。

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成。(工事量減少により、軽油量が減少)
・アイドリングストップ	○	現場件数が少なく、結果的に目標達成した。
・エコ運転の推進	○	エコ運転・点検整備の注意喚起を行い概ね達成。
・車両・重機の点検・整備	○	清掃も含め、今後も積極的に取組みを継続する。

一般廃棄物の削減（コピー用紙削減）	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成。
・コピー用紙の節約（両面・裏紙使用）	○	社内用コピー用紙は、両面刷り・裏紙使用で継続している。
・ミスコピーの防止	△	今後も印刷前確認を呼びかける。

混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成。
・分別の徹底	○	今後も積極的に、各現場における分別取組みを継続する。

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成。
・節水シールの貼り付け	○	節水の呼びかけにより、削減が出来た。
・清掃時の節水	○	効率的な車両・重機洗車を心掛けた。 今後も積極的に取組みを継続する。

問題発生を未然に抑える取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事ごとに環境に配慮した施工方法検討	○	数値目標は達成。
・低騒音・排ガス対策型重機の使用	○	現場環境に対応した台数・規格を検討実施した。 今後も積極的に取組みを継続する。

口環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	・産廃収集運搬業・処理業者との契約・許可証の確認写し保管	遵守
	・マニフェスト交付	遵守
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	・分別解体等及び再資源化等の実施	遵守
	・再資源化等完了報告と記録の保存	遵守
騒音規制法	・特定建設作業の事前届出・規制基準の遵守	遵守
振動規制法	・特定建設作業の事前届出・規制基準の遵守	遵守
浄化槽法	・浄化槽の保守点検・清掃・水質検査	遵守
フロン排出抑制法	・業務用空調機の自主点検・記録保持	遵守
消防法（危険物）	・消火器の定期点検	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局より違反等の指摘や訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

今期は受注減少等により、仕事量・現場件数等も減少となり、結果的に数値目標を達成した状況でした。今後は、受注増を目指すとともに、常に最適な施工方法・使用重機等を意識し、結果に対する細かい分析を積極的に取り組みます。又、従業員一同・協力業者において、環境負荷低減の意識を共有し、取組みを継続していきます。

実施日：2024年11月25日
代表取締役
今中 健夫

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり